

令和6年度 栃木中央小運動会グランドデザイン



＜学校教育目標＞
かしこく やさしく たくましく 地域とともに



＜運動会の目的＞

- (1) 進んで運動に親しみ、めあてに向かって努力することができるようにする。
- (2) なかよし班を中心とした異学年交流により、異なる学年の友達とのかかわりを深め、リーダーシップやフォロアーシップの態度を育む。
- (3) 練習や本番を通して、集団としての規律や団結力、学級への所属感などを育む。
- (4) 友達を尊重したり協力したりする心情を育み、地域の方々との交流を深める。

＜評価規準＝育成を目指す子ども像＞

観点	1～4年	5・6年
知識・技能	自らめあてをもち、活動のルールや集団行動の仕方を身に付けている。	集団における役割を意識しためあてをもち、規律ある行動の仕方を身に付けている。
思考力・判断力・表現力等	集団としてふさわしい行動の仕方を考え、協力して取り組んでいる。	運動することのよさや集団としてふさわしい行動の仕方を考え、協力して取り組んでいる。
主体的に学習に取り組む態度	進んで運動を楽しみ、めあてに向かって練習や本番に取り組んでいる。	進んで運動に親しみ、めあてに向かって努力し練習や本番、係の役割に取り組んでいる。

＜運動会のカリキュラムマネジメント＝重点的に取り組む内容＞

指導方針	具体的な取組（教職員の役割分担）
◆ 学校・家庭・地域が、運動会の目的や育成を目指す資質・能力を共有する。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校・学年だより5月号での周知（校長、各学年） ○ 学校ホームページでの周知（校長、各学年） ○ 学校運営協議会やPTAとの連携・協力（教頭、教務、事務長）
◆ 結果（勝敗、順位）より、過程（努力、協力）に価値付けした指導を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 児童の理解を図る指導（各学年） ○ 児童が自分の目標や役割を自覚し、取組を振り返るキャリアパスポートの工夫（キャリア教育担当）
◆ 学校行事と体育科等との学習内容との関連を図り、教科横断的な学習計画をもとに実施する。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 体育科の学習内容、時間配分を考慮した種目設定や内容、練習の実施（体育主任、各学年） ○ 学級活動等の学習内容と効果的な関連を図る工夫（各学年）
◆ 道徳教育、人権教育との関連を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 道徳教育の学年の重点目標に関する指導の実施（道徳教育推進教師、各学年） ○ 人権教育の育てたい資質・能力等に関する重点的な指導の実施（人権教育主任、各学年）
◆ 児童自身が運営に参画し、自分たちの行事である意識を高める。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 代表委員会を中心としたスローガン決定（代表委員会担当） ○ 開閉会式、係活動での主体的な活動（各係担当） ○ 係活動の役割分担や種目内容の創意工夫等を通して自己決定できる機会の設定（各係担当）